

令和7年度 第5回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和7年8月21日（木） 午後7時から8時30分
■場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
■出席者 委員 : 15名（欠席1名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、伊藤担当長、永田主査

■次 第

- 「豊田市民の誓い」唱和
- 1 会長あいさつ
 - 2 令和7年度第4回地域会議の会議録について
 - 3 協議事項 提案の進め方について
 - 4 その他
 - （1）地域会議委員アンケートについて
 - （2）地域会議委員の再任意向確認について
 - （3）上郷地域バスについて
 - （4）次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和7年度第4回地域会議の会議録について

・第4回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

- 3 協議事項 提案書の完成に向けて

・全体協議を実施し、以下のとおりの協議結果となった。

【協議結果】

- ・提案を行う前に、自主防災会との「活動報告・意見交換会」を実施することで合意し、11月の区長会の場で実施できるよう調整を始めることとした。
- ・提案書の受け渡しは自治区の年間行事予定への反映を鑑み、1月中の実施に向けて進めていくことで合意した。
- ・「活動報告・意見交換会」に使用する資料内容は、まずはHUGを体験してもらい、意識づけをした上で、その後改めてどうするかを各自治区考えてもらうような表現で作成する。
- ・説明用資料は全体的にスリム化し、内容を絞ることにした。

【質問・意見】

- （委員）提案書の受け渡しセレモニーが1～2月になっているが、年間行事予定への組み込むにあたっては、年明け1月がよいのではないか。
- （委員）自治区としては、継続課題にならざるを得ない。すぐに提案どおりにやれるかは

わからない。

- (会長) 自治区それぞれの事情があるので、すべて同じようにはできないと思うが、現時点で個別の自治区の事情を加味してやらなくてもいいとは言えない。地域会議としての提案として一律にお願いしていく。その中で、合同で実施するなどの代替案を探っていくことになると思う。
- (委員) 先日の区長会の中では、市役所の職員がすべてやってくれると認識している人が多い。指定避難所は自主運営である意識を共有する必要があると感じた。今回の報告会・意見交換会を通じてそのような意識の醸成につながると思う。
- (委員) 区長会の場で納得感を持ってもらう説明をする必要がある。地域会議で行ったHUGの感想を入れたほうがいいのか。
- (委員) 地域会議として自治区に提案し、自治区の自主性に任せることになる、今後の人材育成の継続性に疑問が残る。市の防災対策課が推し進めるべきではないか。
- (委員) スライドはボリュームがあるので、少しはコンパクトしたほうが良いと思う。それから、A3・1枚で現状と目指す姿を示すなどビジョン的な作り方が良いと思う。詳細は別資料でまとめるのがよいのではないか。
- (委員) 耐震化率、空き家率、避難所の収容人数を入れたほうがいいのか。
- (事務局) 細かい情報は資料には載せず、想定質問でよいと思う。災害が起きれば、避難所には人が集まることは間違いない。現状、末野原地域では避難所運営に関する取組はされていないが、避難所の運営いかんによっては困り具合が大きく変わってくる、ということを伝えたい。細かいことを盛り込むと話がそれていくと思う。
- (委員) いつくるかわからない災害に対して、もっと取組スケジュールを早めたほうがいいのか。
- (委員) HUGは費用対効果が高いと思う。子供も巻き込んでほしい。

4 その他

事務局から、次の事項について報告・連絡した。

- (1) 地域会議アンケートについて
- (2) 地域会議委員再任意向調査について
- (3) 上郷地域バスについて
- (4) 次回の地域会議について

・次回の地域会議について

とき 9月18日(木) 午後7時～9時

ところ ふれあいホール